

Bayer Medical Dialogue

シリーズ：子宮内膜症アドバンス

第13回

日時：2023年6月14日(水)
19:00~19:45

子宮内膜症に関する疼痛の発生機序とメンタルヘルスへの影響

座長 高松 潔 先生

東京歯科大学市川総合病院
産婦人科 教授

演者 廣田 泰 先生

東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座 准教授

【略歴】

1998年 東京大学医学部医学科卒、東京大学医学部産婦人科学教室入局
2005年 東京大学大学院医学系研究科卒、医学博士取得
2007年～ ヴァンダービルト大学およびシンシナティ小児病院へ留学
2014年 東京大学医学部附属病院 助教、同講師
2020年 現職

子宮内膜症は骨盤痛を始めとする持続的な疼痛の原因となる。最近の研究では、子宮内膜症病変内においてVEGF(血管内皮細胞増殖因子)やNGF(神経成長因子)などが分泌され神経新生が起こり、持続的に疼痛のシグナルが中枢に伝わり、脳の構造変化や機能変化が起きることで疼痛がさらに慢性化し、精神的苦痛の要因となり、視床下部-下垂体-副腎系を介してコルチゾールの亢進をもたらし、抑うつ症状・不安・ストレスなどの精神症状が引き起こされると考えられている。

本講演では、子宮内膜症が引き起こす疼痛の機序とそれがもたらす女性のメンタルヘルスに及ぼす影響について概説する。

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じてライブに参加いただけるカンファレンスです。

Q&Aについて

インターネットを通じて随時質問を受け付けます。
お寄せいただいた質問は講演の最後にご回答をいただく予定です。

ご回答いただいた個人情報については、主に本講演会の運営・管理に使用します。その他の利用目的については、バイエル薬品の個人情報保護方針の「個人情報の利用目的」をご参照ください。<https://www.pharma.bayer.jp/ja/personal>

●WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。

主催：バイエル薬品株式会社